

# 萩小学校



## 校章の由来

郷土にふさわしい「はぎ」の葉を3枚合わせ、「協力」を表している。中央に「萩」の字を小円点で囲んでいるのは、児童が萩小を中心に協力し、円満な人間形成を図る意味がこめられている。

- 1874 (明 7) 御油学校分校として開校
- 1876 (明 9) 独立して萩学校となる
- 1882 (明15) 岩田(現在地)に校舎を新築
- 1935 (昭10) 二宮金次郎石像設置
- 1939 (昭14) 学校演習林設定(杉・檜苗300本植え込み)
- 1947 (昭22) 萩村立萩小学校となる 修学旅行再開
- 1950 (昭25) 臨海学習を始める(4年以上が御津御馬へ)
- 1955 (昭30) 町村合併により音羽町立萩小学校となる
- 1957 (昭32) 鉄筋校舎竣工 総工費2815万715円
- 1963 (昭38) 萩中、萩保育園との合同運動会を始める
- 1964 (昭39) 健康優良学校特選校表彰
- 1969 (昭44) 児童のヘルメット着用開始
- 1972 (昭47) 萩子ども銀行表彰(大蔵大臣・日銀総裁賞) プール竣工(工費1300万円)
- 1981 (昭56) 萩体育館完成
- 1984 (昭59) 愛鳥活動で県知事賞・中日新聞社賞受賞
- 1985 (昭60) 県愛鳥モデル校指定・特別教室竣工、ランチルーム給食開始
- 1989 (平 元) 萩っ子の森完成
- 1990 (平 2) 萩財産区での山仕事活動を始める
- 1991 (平 3) 健康推進全国優秀校 「すこやか賞」受賞
- 1993 (平 5) 緑の少年団全国大会で奨励賞受賞・活動発表
- 1994 (平 6) 全国植樹祭で農林水産大臣賞受賞
- 2001 (平13) 緑化推進運動功労として内閣総理大臣賞受賞
- 2007 (平19) 合併により豊川市立萩小学校となる
- 2009 (平21) 新型インフルエンザにより修学旅行を延期



旧校舎の瓦



新設の体育館(S56)



すこやか賞(H3)

明治7年の創立から140年あまり、町村合併により「萩村立」「音羽町立」「豊川市立」と校名を変更しながら現在に至る。

豊かな自然に囲まれて、緑化推進や愛鳥活動を中心にすえた教育活動を続けている。山仕事を体験したり、探鳥会を定期的に行ったりすることを通して、すくすく伸びゆく子どもが育っている。全校児童が一輪車に乗って演技する運動会も長い伝統になっている。



給食(S30頃)



第2回卒業生(M44)



親子探鳥会(H12)



巣箱かけ(H4)



運動会萩音頭(S29)



運動会 一輪車ショー (H26)

**萩小学校校歌**

河合 俊郎 作詞  
永見 貞三 作曲

一 緑ゆたかな 前山の  
あかるい朝の かがやきに  
あおぐまなびや ひかる窓  
希望あらたに 眉あげて  
学んでいこう げんきよく  
みんながんばれ 胸をはれ

二 山陰川に ささやいて  
風がさやかに 呼んでいる  
未来ゆめみる 萩小の  
子らはすこやか はばたいて  
きたえていこう はげみあい  
みんながんばれ 胸をはれ

三 萩の三つ葉は むすびあい  
力あわせて のびていく  
はるかな空に わく雲よ  
ああ しあわせな ふるさとよ  
歌っていこう 手をつなぎ  
みんながんばれ 胸をはれ

## 萩小の昔のお話を聞く会 (平成26年11月20日)

今日は、60年前に卒業したおじいさん・おばあさんのお話を聞きました。昔の萩小は今の人数よりずっと多かったことにおどろきました。昔は「村」だったので少ないと思っていたからです。学校にぞうりをはいてきていたので、歩きにくくてころびやすいのかなと思いました。昔の遊びでは、ほとんど自分たちで遊ぶものを作っていたので、昔の子どもは頭がいいなと思いました。私も昔の遊びをしてみたいです。  
(4年児童感想)